

重要文化財（美術工芸品）答申一覧

令和6（2024）年3月15日（金）文化審議会答申 栃木県分

名称	所有者	時代・点数	特徴等
とちぎけんかみこうぬし 栃木県上神主・ しゅつどこくしよがわら 出土刻書瓦 もぼらかんがいせき 茂原官衙遺跡	宇都宮市・上三川町	8世紀後半 1,461点	上神主・茂原官衙遺跡は宇都宮市と上三川町にまたがる古代の官衙（役所）跡で、8世紀後半の礎石瓦葺建物から多量の刻書瓦が出土した。 刻書のほとんどは人名で、当時の地名と共通する氏や個人の名前が刻まれている。このような文字瓦が官衙跡からまとまって出土することは稀少である。 これらは瓦生産と供給に関する河内郡内に居住した氏族の関わり方を解明する上で重要で、わが国の古代官衙における瓦の生産・供給のあり方を窺い知ることができる重要な資料である。



上神主・茂原官衙遺跡 出土瓦



上神主・茂原官衙遺跡 出土刻書瓦